

2012 年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	総合政策学部	身分	教授
氏名	花枝 英樹		
NAME	Hanaeda Hideki		

1. 研究課題

（和文）日本企業の投資・資金調達政策ーサーベイ調査による分析ー

（英文）Survey Research on Investment and Financing Decisions of Japanese Firms

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

財務意思決定権限と企業内投資資金配分に関して、日本の全上場企業に直接問う形でのサーベイ調査を行った。その調査結果をもとに、(1)財務意思決定権限がどの程度トップ経営者に集中しているか、逆に、どの程度部下に権限委譲されているのか、(2)財務意思決定問題や企業特性の違いによって、意思決定権限の委譲は異なるのかどうか、(3)企業内での投資資金配分は、どのような点を重視して行われているのか、といった点を明らかにするのが本研究の目的である。

サーベイ調査の結果、以下の4点が明らかになった。第1に、6つの財務意思決定の中では、M&Aの権限委譲の程度が最も低く、逆に、設備投資とR&D投資の意思決定の権限委譲が最も高かった。第2に、トップ経営陣の負担度や企業の複雑性が増すにつれ、権限委譲が進むことが確かめられた。第3に、事業部門間の投資資金配分に際して企業が重要視する要因は、「マーケット・シェアの維持」、「事業部門長の新規投資に対する確信」、「プロジェクトのキャッシュフローのタイミング」、「各事業部門の過去の投資の収益性」であり、「プロジェクトのNPVに基づくランキング」は重視度が低い。一方、「事業部門間の公平なバランス」は重視割合が低かったが、米国企業と比べると相対的に重視している。第4に、権限委譲の程度や資金配分で重視する要因の違いが、企業パフォーマンスに影響を及ぼしている可能性が示唆された。

（英文）

This research is the survey analysis on capital allocation and delegation of decision-making authority within Japanese firms. The main results are followings. First, Chief Financial Officers (CFOs) are least likely to delegate decision-making authority in mergers and acquisitions, relative to delegation of other financial decisions. Second, decision authority is more likely delegated when the firm is large or complex. Third, most companies allocate funds across divisions using market-share, confidence of the divisional manager in the project.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p> <p>花枝英樹・芹田敏夫、「財務意思決定の権限委譲と投資資金配分—サーベイ調査による分析—」、 『現代ファイナンス』、査読有、No.34、53頁～82頁、2013年9月</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p> <p>花枝英樹、「財務意思決定の権限委譲と投資資金配分—サーベイ調査による分析—」、 日本経営財務研究学会第36回全国大会、専修大学、2012年10月</p>
<p>【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p>